

また来年に会いましょう

4月23日(日)から開催していた端午の節句企画「武者人形展」が、5月7日(日)に閉幕しました。サクラの見頃とも上手く重なり、訪れた多くの来館者が資料館内を飾る威容に目を奪われていました。

期間中は町内外あわせて、470名が来館されました。「雛人形展」と肩を並べる人気の企画ですが、この時期は旅行の途中で立ち寄られる方が多く、武者人形から漂う雰囲気も手伝うためか、感嘆の表情で資料館を後にされる方が続出します。

皆さんからお寄せいただいた人形たちは、それぞれのご家庭で子どもたちの旅立ちを見守った後も、改めて惜しみなく活躍しています。また来年も、皆さんが会いに来てくれることを心待ちにしていることでしょう。

仙台陣屋 かわら版

第134号

(平成29年6月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

「子どもの日」企画

雨でも遊びに来てくれてありがとう

サクラも咲きはじめてた5月6日(土)には、恒例の「子どもの日」企画を行いました。朝から雲が立ち込め、雨まで降りだす天気でしたが、30名もの親子連れが資料館を訪れてくれました。

「絵本の読み聞かせ」や「紙かぶと作り」を一緒に楽しんでから、「手焼きせんべい体験」や「よろい・かぶとの試着体験」に参加。子どもたちの年齢は例年に比べてやや低めに見受けられましたが、好奇心は何歳でも変わらないらしく、体重の半分くらいはありそうな「よろい・かぶとの試着」へも果敢にチャレンジしてくれました。

女の子の希望者が多かったのも今年の特徴です。とあるお父さんは今から「お見合い写真に使うから」と、特別にご満悦の様子でした。「せんべい焼き」も例年通り大好評。七輪や焼型が珍しいのか、煎餅を片手に目を釘付けにしている親子が目立ちました。

雨にもかかわらず遠方から来られた皆さん、企画にご協力くださった皆さん、ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。



サクラ咲く！ぴたり賞あらわる！

はじめまして

陣屋資料館の町民無料化を記念して実施した「サクラの開花予想クイズ」は、49名の方々に参加いただきました。連休中の開花は難しいかと心配もしましたが、昨年より1日遅れの5月4日（木）に一輪の開花を確認。北吉原にお住いの宮岡珠美さんが、見事に予想を的中されました。

5月9日（火）にサクラの木の下で執り行いました授与式で、宮岡さんには安藤教育長よりアイヌ文様の刺しゅうされたテーブルセンターと「あかまつ」煎餅が、惜しくも前後賞となりました。林洋子さんには川西政幸友の会会長より賞典が手渡されました。

今回、残念ながら予想を外してしまった皆さん、今後も季節ごとに企画を催しますので、是非ともまたご参加ください。お待ちしております。



<授与式の様子(上)>

<サクラの木々(下)>

4月から資料館で勤務することになった結城理奈子です。白老には、自然が豊かなところという印象を持っていましたので、こんな環境の美しいところで働けることを幸運に思います。苫小牧駒沢大学の学芸員課程で学芸員の資格を取り、北海道の歴史を学んできました。これからは元陣屋の歴史をはじめとした多くのことを学んでいきたいと考えています。

学芸員の仕事の魅力は、何と言っても過去の人々が遺した財産・事実を守っていくことだと思っております。そして昔の人々がどのような生活をしていたかを想像したり考察したりすることの楽しさを、皆さんにも知ってもらいたいです。至らぬ点ばかりで教えていただくことも多いですが、よろしくお願いいたします。



ふるさと再発見講座

昨年度に引き続き、「館長とまち歩き講座」がはじまりました。町内に点在する名勝や旧跡を、一緒に訪ね歩いてみませんか？当日は資料館長のほか、その地域に詳しい方々が皆さまをご案内します。

全講座の参加が難しい方も、お配りする折り畳み式ガイドマップ「しらおい再発見」を活用いただくことで、お好きな時に、お手軽に名跡巡りを行えます。

ご参加のお申し込みは、仙台藩白老元陣屋資料館までお電話ください。

◆大町地区編

5月28日（日）10時～12時

◆陣屋地区編

6月11日（日）10時～12時

◆萩野・北吉原地区編

6月25日（日）10時～12時



〈大町地区の「アイヌ碑」を探索中〉

「仙台陣屋かわら版134号（平29年6月号）」

発行日：平成29年5月19日（金）

発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者：平野・結城

<http://www.town.shiraoida.jp/bunka/inay/>

Mail: jinya@town.shiraoida.jp TEL: 022-220000